

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第288号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年11月18日 08時00分ごろ	
発生場所	千葉県富津市明治記念展望台から真方位286° 1,400m付近 (概位 北緯35° 18.8′ 東経139° 46.0′)	
事故等調査の経過	平成21年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 教習艇 むさし42号、5トン未満（長さ4.86m） 船舶番号、船舶所有者等 242-23600神奈川、財団法人日本船舶職員養成協会	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底塗料はく離、船外機濡損	
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、浦賀水道の第一海堡付近を約10ノット(kn)の速力で南進中、平成21年11月18日08時00分ごろ、第一海堡の北東約100mの浅所に乗り揚げた。 本船は、自力離礁できず、翌日、マリーナの救助船に引きおろされたのち、えい航されてマリーナに帰港した。	
その他の情報	乗揚場所付近の底質は細かい砂であった。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風速 約3m/s、視界 良好 海象：波高 約30cm、潮汐 下げ潮の中央期、潮流 南東流（最強09時29分、約0.7kn）	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、東京湾を南進中、船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に気付かずに航行して乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が東京湾を南進中、船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に気付かずに航行して同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	